



Young Women's Christian Association



ブックレット

—歴史「女性の自立をもとめて」

公益財団法人日本YWCA

YWCA of Japan

女性の自立をもとめて

このブックレットでは、YWCAの歴史をダイジェストでご紹介します。

YWCA の未来への歩みを皆さんと創るために、YWCA が大切にしてきたものを、活動の歴史を通して探ってみましょう。

二人の女性の出会いからスタートした YWCA	2
YWCA の運動はキリスト教の精神に深く結びつく.....	3
日本に来た女性宣教師たちの願い	4
日本 YWCA の設立	5
市 YWCA の誕生の誕生	7
働く女性をサポート	8
戦争の波に揉まれて	9
平和のために YWCA は行動	10
「核」否定の思想に立つ	11
オープン メンバーシップ	13
世代交代と新時代への模索	14

二人の女性の出会いからスタートした YWCA



エマ・ロバーツ



メアリー・ジェーン・
キナード

19 世紀、イギリスの産業革命は女性たちの生活を大きく変え、農村で暮らしていた女性たちが一斉に都市に出て働くようになりました。都市の希薄な人間関係に振り出され、価値観もこれまでと全く異なる

都市での生活、過酷な工場での労働の中で、女性たちは翻弄されていたのでした。1855 年、イギリスで、二人の女性が、それぞれに「YWCA」を名乗って、活動を始めました。一人はエマ・ロバーツ。翻弄される若い女性たちの状況に心を痛めた彼女は、女性たちが自分の生き方を見つめ、神の前に祈ることが必要だと考えました。彼女が始めた若い女性の小さな祈禱会「Prayer Union」は、多くの人々に支持され、イギリス全土に広がっていきました。もう一人はメアリー・ジェーン・キナード。都市には女性が安心して泊まれる場所がありませんでした。そこで彼女は、若い女性のための宿泊施設をロンドンにつくりました。この施設は、宿を提供するだけでなく、聖書クラス、教育プログラム、カウンセリングなども行い、若い女性たちの安全で安心な場所となっていきました。キリスト教の信仰に根差した活動の発展を願っていたこの二人の女性リーダーたちがめぐり会い、一緒にお茶を飲みながら、2 つのグループを 1 つにまとめることにしました。1876 年頃のことでした。

YWCA の運動はキリスト教の精神に深く結びつく

世界 YWCA の誕生のストーリーを
ふりかえって、世界 YWCA のスーザン・ブレナン元会長はこのように語っています。「この二人の女性たちの出会いは、YWCA 運動がキリスト教の精神にいかに深く結びついているかを物語っている。私たちの活動はすべて、互いに愛し合い、すべての人、すべてのいのちを尊重するもの

YWCA Christian



です。私たち YWCA のアイデンティティの中の C=Christian は、私たちの活動が人々を喜んで迎え入れ、分け隔てせず、公正であるという価値観を基盤にしているということ。キリスト教が盛んな場所にも、あるいはそうでない場所にも YWCA はあります。たとえどこにあっても、YWCA が、神とのつながりの気づき、すべての命がいやされる可能性、そして変化していく可能性があることを知らせる営みの場であり、YWCA で活動する私たち一人ひとりが、それを大切に育むという役割を担っているのです。」と、スーザンは語ってくれました。

日本に来た女性宣教師たちの願い



日本の YWCA 誕生の物語を見てみましょう。YWCA の運動に関わっていた女性宣教師たちは、来日すると日本の女性たちの状況を憂い、各地

で若い女性たちの集会を開きました。集会に出席した女性たちは、新しい世界に触れ、自分で考え、臆せず発言することを学んでいきました。これは日本の女性の自立への基礎づくりとなったのです。

宣教師たちはまた、紡績・製糸工場などで働く「女工」と呼ばれた女子工場労働者の過酷な状況にも心を痛めていました。そこで女性宣教師たちは、日本の少女や女性たちのために働くYWCAのスタッフの派遣を、本国に再三要請し、1900年、初代世界(当時:万国)YWCA 総幹事 アニー・レイノルズの来日 が実現します。日本の各地を視察した彼女もまた、日本が YWCA を必要としていることを確信したのです。

日本には女子大学という、きわめて独特な存在があります。宣教師たちは、この女子学生たちが将来日本女性としてリーダーシップを発揮することを予感していました。アニー・レイノルズ総幹事は、日本の YWCA が活動の対象とするのは、「学校 YWCA」、「ミッションスクール卒業生などの家庭婦人」、そして「東京、大阪などの女子工場労働者」の3つと考えたのです。

日本YWCAの設立

1905年、日本YWCAが、そして同時に東京YWCAも誕生しました。津田梅子を初代会長とした東京YWCAは、寄宿舍などの事業を行い、M・A・ホイットマンを会長とした日本YWCAは、学校YWCAの組織形成と機関紙の発行を担いました。この東京と日本の両YWCAの総幹事は、カナダから来日したキャロラインマクドナルドでした。

日本YWCA設立当初は、外国人主導でしたが、設立から5年後の1910年には、会長に井深花子、7年後の1912年には総幹事に河井道子が就任しました。

当時、万国YWCAとっていた世界YWCAへの加盟は、設立の翌年1906年です。この時、日本YWCAには東京・横浜・徳島・函館の4つの市YWCAと、大阪のプール学院・横浜のフェリス女学院・仙台の宮城女学校・東京の小石川

女子伝道学校の4つの学校YWCAが活動していました。



キャロラインマクドナルド



河井道子



井深花子



1906年 第1回夏期修養会

日本 YWCA の創設期の活動は、YWCA でトレーニングされた外国人幹事たちが貢献。彼女たちは、会員と幹事の働き方の関係、委員会制度による民主的な組織運営の仕方など、実際の働きの中で、会員や日本人幹事に、その精神やノウハウを伝えていったのです。

市 YWCA の誕生

日本 YWCA が創設されると、都市部に市 YWCA が設立されていきました。日本 YWCA と同年 1905 年に設立された東京 YWCA、1913 年 横浜、1918 年 大阪、1920 年 神戸、1923 年 京都、そして 1933 年には名古屋 YWCA が誕生しました。



大阪 YWCA



東京 YWCA



京都 YWCA

働く女性をサポート

日本 YWCA は設立後、働く女性に目を向けます。急速な工業化に伴い、非人間的な状況で働かされていた女子工場労働者や農村の女性を支えるために、東京 YWCA はじめ、初期に誕生した横浜・大阪・京都・神戸 YWCA が、それぞれ働く女性たちを対象にした活動を展開しました。中でも労働調査部による工場や農村の女性の実情調査は、当時としては画期的なもので、国際労働機関(ILO)にも報告されました。



←農繁期の農村託児所
於：富士岡荘

↓名古屋 YWCA 友の家
「女中さん」慰労会

名古屋には、働く若い女性が共に学び、友情と信仰を育む場所として「友の家」ができました。この「友の家」は、後の名古屋 YWCA の設立へとつながっていったのです。



戦争の波に揉まれて

1937年7月に始まったアジア・太平洋戦争。日本全体が国家の厳しい統制の下で戦争協力を強要される中、YWCA はぎりぎりまで国際平和のメッセージを発信していました。しかし1940年には世界YWCAとの交流を中止しなければならない事態に追い込まれます。



幹部錬成会 於：東京YWCA
1943年7月 文部省及び日本基督教団後援

機関紙に戦争協力的な記事を掲載するなど、国際団体としての特質を失い、キリスト教団体の本質を歪めていきました。日本 YWCA にとって、忘れてはいけない負の歴史です。

1943年10月
中央委員会

於：同盟事務所
(東京・信濃町)



植村 環
委員長

光 静枝
総務長

平和のために YWCA は行動

1945 年の敗戦後、YWCA は二度と悲惨な戦争を繰り返したくないと、それまでの働く女性の課題の取り組みから、平和を求めて働く団体へと大きく性質を変えていきました。各地に市 YWCA が発足。その多くは会館やスタッフを持たない小規模な YWCA で、身軽さを生かし活発に運動を展開していきました。



1962 年、平和憲法を守り生かす活動を進めるために、YWCA は憲法を学ぼうと「キリスト者と憲法」研究会を開催。それが、その後 40 年間続く「憲法研究会」



の始まりとなったのです。その前段階となったのは、「平和のとりで」運動。憲法に親しむために朗読と劇で視聴覚に訴えたもので、各地で上演し、広く知らせました。

「核」否定の思想に立つ

「広島」を
わたしの生活の原点におく



湘南YWCA 原爆の図展



名古屋YWCA 映画「ヒロシマ・ナガサキ」上映

1970年、静岡の天城山荘を会場に開催された第17回全国総会で、「『核』否定の思想に立つ」を活動の強調点に掲げました。「人間が作り出した『核』エネルギーは、ひたすら軍事目的に利用され、強大な国は核を敵の絶滅を目的に、あらゆる知識と技術を投入して開発している。そのことから目をそらして、原子力の将来を夢見ることはできない。」これはこの時の全国総会での強調点の提案者の言葉です。

このカッコ付の「核」は、現代文明全体が自分だけの強さや豊かさを求めて、人間を、地球を踏みつけ、大きな破局に至らしめる道を歩んでいることを表現しています。それゆえ、「『核』否定の思想に立つ」とは、「核」を頂点とした現代文明に「否」を突きつけることであり、自分たちの生き方を問い直すことへの決意でした。

“証言する人々との出会い”

—1977 中高生ひろしまの旅報告—



この強調点を具体的な全国運動の展開とするために、「ひろしまを考える旅」や「原爆絵画展」の実施、核実験・沖縄返還協定など戦争につながる

ものへの抗議、そして自らの生きてきた道を歴史に重ね合わせてその意味を見出す作業「私の履歴書運動」を展開していったのです。

人間を非人間化する現代文明に抗議し、弱い立場に置かれた人たちの人権問題に取り組むこともそうでした。この時代のYWCAが必要であったこと、それは、流れに抗して生きる力をつける思想形成であったと言えます。

平和の問題を
世界の仲間と考える

「人間とは何か」の追求



クーマラサミーさん(マレーシアYWCA総幹事/世界YWCA副会長)を迎えて

第1回 ひろしまを考える旅 1971年

オープンメンバーシップ

1970年の全国総会では、もう一つ大きな決議をしています。「オープンメンバーシップ」です。それまでクリスチャンだけを正会員としていたのを改め、目的に賛同するすべての女性と共に活動することを決めたのです。日本YWCAはクリスチャン、ノンクリスチャンの違いではなく、一緒にキリスト教基盤を探求し、平和や人権のために協働していく団体へと生まれ変わったのが1970年の全国総会です。

この時の全国総会で、3人の方が発題しました。テーマは「キリスト教を基盤とするYWCAの今日の存在意義について追及する」。この発題をもとに出席者たちは討議し、「他者と共に生きることを祈り続け、求め続けること」、「人間が神の前に等しくあることを具体化すること」など、オープンメンバーシップの意味を語り合いました。以来、日本YWCA、つまり全国のYWCAの活動は、オープンメンバーシップ制をとり、キリスト教基盤に立って展開しています。

キリスト教を基盤とするYWCAの

今日の存在意義について追及する

- 「他者と共に生きることを祈り続け、求め続けること」
- 人間が神の前に等しくあることを具体化すること

オープンメンバーシップ

キリスト教基盤

世代交代と新時代への模索

創立 80 周年を迎えた 1985 年以降、日本 YWCA と地域 YWCA の役割が見直され、地域 YWCA が全国運動の主役であることが認識されてきました。日本 YWCA とは東京にある事務所をさすのではなく、日本 YWCA とは地域 YWCA の総体であり、地域 YWCA の活動をつなげるのが日本 YWCA の役割であると語られるようになりました。「中央事務所」ではなく「日本 YWCA」、「市 YWCA」ではなく「地域 YWCA」としたのもこの頃からでした。これは、YWCA が上からの指示で展開する運動ではなく、ネットワーク型の運動であることを再認識することになったといえます。

- 地域YWCAが全国運動の主役
- 日本YWCAとは地域YWCAの総体であり、地域YWCAの活動をつなげるのが日本YWCAの役割
- 中央事務所→日本YWCA 市YWCA→地域YWCA
- YWCAはネットワーク型の運動
- 若い女性の、リーダーシップを育てながら、ビジョンを推進

YWCA の活動が、何らかの形で社会を変革するものでなければ、目的を持った運動体としての存在価値はありません。社会変革の方法を、理論的・技術的に学ぶリーダーシップ養成の大切さを再確認し、力を注いでいったのも、創立 80 周年がターニングポイントでした。

YWCA のリーダーシップは、個人の資質に依存するものではありません。

YWCA がいうリーダーシップとは、YWCA の会員集団の中に形成される相互影響力のネットワークであり、また組織における役割分担なのです。

日本 YWCA、つまり全国の YWCA は、祈り求める「平和な社会の実現」のために働く人たち、ことに若い女性のリーダーシップを育てながら、すべての人々が恐れや窮乏から解放され、尊厳をもって生きていける状態になることを信じて、活動を進めてきました。それは、今、全国の YWCA の活動に息づいています。

YWCAの歴史—女性の自立をもとめて 資料や動画があります



写真をつなげた動画とシナリオを用いて、
ワークショップを行うこともできますし、ナレ
ーション入りの動画は、YWCA の会員等の

オリエンテーションにもお使いいただけます。

さらに詳しい日本YWCAの歴史は、

『日本 YWCA100 史—女性の自立をもとめて—』を！



『日本YWCA100年史』は、日本の女性運動の歴
史に新たなページを加える記録であり、キリスト
教学校(ミッションスクール)の草創期の働きや社

会福祉事業の歩み、女性が中心となった国際協力がもつ意義を知
る上で、欠かせない一冊です。3,500円(送料別)。

●ご希望の方は、日本YWCAへご連絡ください。

office-japan@ywca.or.jp TEL 03-3292-6121

発行日： 2019 年 4 月 1 日

発行者： 公益財団法人日本YWCA

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 1-8-11

東京YWCA会館 302 室

Tel: 03-3292-6121 Fax: 03-3292-6122

E-mail: office-japan@ywca.or.jp

